

保護者の皆様へ

伊丹市立笹原小学校
学 校 長 村上 順一
P T A 会 長 大西 ゆかり

「オンラインツール使用权契約書（モデル）」の活用について

平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、近年オンラインツールの急速な普及に伴い、お子様にスマホやタブレット、PC、オンラインゲーム等を持たせているご家庭、またこれから持たせようとお考えのご家庭もあるかと思えます。

また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として長期にわたり、これまで通りに教育活動が進まないという異例の事態も起きています。その間、学校からの連絡や教材等の情報提供をホームページやメールで紹介があったり、コミュニケーションの方法を模索したりする中で、お子様の使用機会も増えたのではないかと思います。

しかし、情報モラルやメディアリテラシーなどの未熟な段階で自由にネット環境を利用することにより、子どもたちが悲惨な事件やトラブルに巻き込まれるケースも増えてきています。

また、全国学力学習状況調査のアンケート分析でも、長時間のスマホの使用は学力低下の一因となる等の結果も報告されているところです。

トラブルや過剰な使用を回避する手段として、ご家庭でルールを決めて使用させ、定期的にチェックを行う方法が有効だと言われています。しかし、ご家庭毎のルールといっても、どのようなことを決めればよいのかとご相談を受けることも多くあります。

そこで、本校では教職員、PTAで協力して「オンラインツール使用权契約書（モデル）」を作成しました。オンラインツールの使用ルールを今一度ご家庭で話し合わせ、本モデルを参考にお子様とルールを確認する方法としてご活用くださいますようお願いいたします。

本モデルの活用方法例

- ① 契約書を読み聞かせる。
- ② 約束した項目の□にチェックを入れる。
- ③ 全てをチェックできたら、契約者・保護者氏名にサインする。
- ④ 家のわかりやすいところに保管する。
- ⑤ 約束を破った場合は契約書に基づき、家族で協議する。

紙面にして親子で約束することで、オンラインツールを使う子どもたちにも責任感や、大切に使うという気持ちが育ち、使用ルールを破ったり、危険な使い方をしたりした際には家族で話すために活用していただけるものと考えています。最後の項目については、各ご家庭のルールのご記入ご利用下さい。この契約書の活用は拘束性のあるものではありませんが、積極的に家庭教育でご活用いただければ幸いです。

（学校に提出する必要はありません。）

引き続き、学校でも情報教育等の学習を推進してまいります。家庭・地域と連携して子どもたちを守りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※ホームページからもダウンロードできますので、ご活用ください。